

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 範囲	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時 刻	観察中か否 か (観察中○、 観察中以外×)	異常な 行動 発現 後 に 発 現 し た 症 状 有 無	観察中の場 合、観察時 期から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りし て完全回復	経過	発熱の有無	嘔吐の有無	腹痛の有無	頭痛の有無	異常行動 発現時の 意識	異常行動 発現時の 瞳孔	異常行動 発現時の 心拍数	異常行動 発現時の 血圧	異常行動 発現時の 体温	異常行動 発現時の 呼吸	異常行動 発現時の SpO2	異常行動 発現時の ECG	異常行動 発現時の 脳波	異常行動 発現時の MRI	異常行動 発現時の CT	異常行動 発現時の 検査結果	異常行動 発現時の 診断	異常行動 発現時の 治療	異常行動 発現時の 経過	異常行動 発現時の 結果	異常行動 発現時の コメント	異常行動 発現時の 備考	異常行動 発現時の その他			
252	B07000123	14	年	男性	異常行動	2007/1/8	18:00	2007/1/8	18:30 20:00	×	No	-	-	No	発熱持続 中	-	No	No	No	-	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2007/01/08 入院時、体温35.2℃。 (18:00)インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1回内服。 (18:30)異常行動発現。もうろうとして意識がクリア。「俺を殴るか？」と言った。 (19:00)Zから降りてきて、再び意識もうろう状態。脳38.0℃ (20:00)「おねえさんか？」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの」により意識が戻った。その後は普通。ご帰院へ。 (22:00)夜室で寝る。 (24:00)意識もうろう(母で、何で?)と問いかけた。ベッドに横して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんているの？」と言った。脳37℃。 2007/01/09 (8:00)熱が下がって普通。 異常行動回復。	異常な行動の具体的な詳細 《例：幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 娘が幻覚を見ていたかどうか?》	195
253	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	不明 18:30	2007/3/8	8:35	-	-	少なくとも 2~3分以上	Yes	発熱持続 中	No	No	No	No	-	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2007/3/7(10:00)通学後2時間ほどより発熱、早速近医受診、インフルエンザB型と 診断。タミフル(毎日75mgを2回、(18:30)9時/日75mgの服用。 2007/3/8 意識した時閉じた時間は不明だが、8:35分には起きていた。(8:35)異常 行動。意識障害発現。子ども部屋からのうめき声を母が聞く。部屋に行ってみると当 該患者がベッドで横たわり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして 落ちた音が、その後一人でトイレに行き、検尿している間に意識消失。2~3分程 度経過。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到着。到着時には、意識は回復 していた。本人にそのときのことを確認すると、審し気がしたのでうめき声を発した が、窓から身を乗り出していたことは記憶がないとのコメント。異常行動、意識障害 回復。そのため新調ラインを解除し入院。 2007/3/9 熱より発熱、入院後、異常行動なし。脳波CT検査を行い異常なし。退院し た。 2007/3/18 患者は病室の運送先で、インフルエンザを発症。(夕方)他院搬送により、 本剤75mg投与。 2007/3/19 (夜中)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現10分後) 異常行動回復。当院受診。	196	
254	B07000158	14	年	女性	異常行動	2007/3/18	夕方	2007/3/19 2007/3/19	夜中 午前	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続 中	No	No	No	-	No	No	-	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2007/2/3 (第1回)インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日)。 (7:00)30分の本剤75mg内服後、就寝。(23:00)突然起き上がり、声を出したが(内容 は不明)窓の扉より降下へ飛び降りた。この瞬間母親が何重にいたが、突然の行動のため 制止することができなかったこと。直後に両親が扉で扉を叩いて、戻っ ている状態を確保。ホッとしている状態であったが、話しかけには返事をしていたと のこと。その翌朝発熱。翌日には意識は全く清明であった。 2008/2/7 タミフル投与終了。 2008/2/8 インフルエンザ投与・回復。 2008/2/10 悪病は特に加重せず、約10日後で軽快した。 2007/3/24 異常行動回復、医師の経緯確認日。	197	
255	B07000162	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	朝 21:00	2007/2/3	23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続 中	No	No	No	-	No	No	-	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2007/2/3(18:00)夜中、インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ(約10分)。その後、回復し寝る。 2007/3/20 (12:30)突然意識し、2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの転帰:軽快。	198	
256	B07000206	14	年	男性	異常行動	2007/3/8	18:30	2007/3/8	14:00	○	Yes	-	2~3分	Yes	発熱持続 中	Yes	No	No	-	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(18:30)本剤75mg投与。(14:00)夜中、インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ(約10分)。その後、回復し寝る。 2007/3/20 (12:30)突然意識し、2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの転帰:軽快。	199	
257	B07000215	14	年	男性	異常行動	2007/2/*	不明	2007/2/*	-	○	-	-	10分	Yes	発熱持続 中	No	No	No	-	No	No	-	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2007/3/19 (8:00)夜中、インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ(約10分)。その後、回復し寝る。 2007/3/20 (12:30)突然意識し、2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの転帰:軽快。	200	
258	B07000218	14	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/16	夕 朝	2007/3/16	14:30	○	Yes	1.5hr	Yes	Yes	発熱持続 中	No	No	No	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/15(18:00)夜中、インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ(約10分)。その後、回復し寝る。 2007/3/20 (12:30)突然意識し、2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの転帰:軽快。	201
259	B07000281	14	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/6	不明	2007/3/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/3 咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。 2007/3/6 38℃での発熱があり一時的に意識が正常。頭痛・悪寒あり。18:4 0当院外来受診。インフルエンザキットにてA型陽性と出たため、十分なインフルエンザ コントロールのため、本剤5日分とアスピリン6錠が処方された。同日、母が外から呼 んでいるという幻覚があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。 その後の血統受診はなく、転帰は不明。	202	
260	B07000283	14	年	男性	①意識レベルの低下 ②横痂	2007/3/14	20:00	2007/3/14	23:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続 中	-	No	No	-	No	No	-	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	(23:00)せん妄、もうろう状態発現。 トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。 床の中で不穏動作(手をタバタバさせたり起き上がりうろたえたり、物に怪すような動作 が認められたため、両親が体を抑えつけていたが改善した。記憶は定かではなかつ たとのこと。症状回復。	202	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中以外: ×)	就寝中の場合、 就寝時刻から発現 までの時間	就寝中の場合、 回復までの 時間	意識が 完全に 回復した か	意識が 回復した 場合、 経過時間	異常な行動 の持続性	異常な行動 の頻度	異常な行動 の重症度	異常な行動 の危険性	異常な行動 の発症回数	異常な行動 の発症時期	異常な行動 の発症場所	異常な行動 の発症状況	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと述べているのか?)	旧資料No
268	B05001829	15	年	男性	①痙攣 ②嘔吐	2005/3/20	10時過ぎ頃	2005/3/20	11:30	×	No	-	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	210
269	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②痙攣	2007/2/8 夕暮 2/9~2/12 2007/2/15	夕暮 夕暮 夕暮	2007/2/13	午前	×	No	-	No	No	解熱後	No	-	-	-	-	-	211
270	B05024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17	昼 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18	1:00 7:40	×	No	-	7時間	-	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	212
271	B06028295	15	年	女性	①痙攣 ②発汗 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14	18:30	2007/03/14	21:00	-	-	-	15分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	213
272	B07000085	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	22:00	2007/3/7	1:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	214
273	B07000078	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/16	①13:30 ②10:00	①2007/3/15 ②2007/3/16	17:00 11:30	-	No	-	15分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	215
274	B07000108	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	19:30	2007/3/7	1:30	-	-	-	数秒	-	-	Yes	No	No	No	No	No	216

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を顕現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を顕現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時期	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	回復して 完全回復し た	経過	発熱の有無	嘔吐の有無	腹痛の有無	頭痛の有無	けいれん の有無	けいれん の持続時間	けいれん の部位	けいれん の頻度	けいれん の強度	けいれん の持続時間	けいれん の部位	けいれん の頻度	けいれん の強度	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何を見たか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかどうかと書いてください)	旧資料No
275	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2	20:00	2007/3/3	5:00	○	Yes	8時間	4~5時間	No	解熱持続	Yes	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2007/3/2 (午後)発熱、熱38℃超で92錠インフルエンザと点滴投与。(20:00)自宅、夜後に本剤75mg×1/日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (8:00)起床して起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄干を這い降りた。母親が制止した。『どうしよう、耳鳴りするよ』(喜び、笑い)など意味不明な言葉と暴動不審が1時間程度。(8:30)部屋に戻り、(8:00)起床。(8:00)熱37.1℃で急回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。本剤1回で投与中止。解熱剤等の服薬なし。母親が当院の看護師という事で、9:00就寝は回復と判断した。当院へ連れて来た。 (8:15)医師が正常と判断。異常行動回復。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定せず。	217
276	B07001356	15	年	男性	異常行動	2007/3/3	-	2007/3/3	-	-	-	-	No	Yes	-	-	No	No	-	-	-	-	-	-	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与開始。薬を飲むが、現の首を絞めた。異常行動(けいれん)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。	218	
277	B07001630	15	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作虚脱	2007/3/19	14:00	2007/3/19	23:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月19日(23:00)異常行動(風呂場)に行き、浴槽で頭を打ちつける行動発現。少し出血した。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、6分。その後、強直発作10秒続いた。 3月の20日(土)に行った時、意識消失(刺激を与えても反応なし)を起こし、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーとした状態。	219	
278	B08006353	15	年	男性	異常行動	2001/2/8~ 2001/2/10	1日2回	2001/2/10	-	X	No	-	13日	No	解熱後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2001/02/08 (タミフル)投与開始のため、本剤カプセル75mg、アセトアミノフェン400mg、他剤の服用開始。 2001/02/09 体温38.0℃。 2001/02/10 体温37.0℃。患者は発熱できなかった。 2001/02/12 体温は正常範囲に落ち着いたが、痙攣状態は続いていた。 2001/02/13 本剤服用後(休薬期間開始6日目)、発熱。授業中、風邪は寒さよくい正座をし、大きな声で叫び始めた。他の生徒とコミュニケーションをとることはできず、患者の目には彼らが入っていなかった。患者はせん妄状態だった。両親が患者を家に連れて帰ったとき、患者は再度痙攣状態となった。行動には明らかに異常な認められなかったが、患者は学校に連れていかれてはなかった。 2001/02/17 それから4日後、両親に連れていかれた。医療機関受診。市立病院を紹介される。タミフルによる異常行動を疑われ、漢方、漢方、完全血球算定検査、血液化学検査、脳部CT、脳MRI、EEGなど一連の検査で異常は認められなかった。血清アンモニウムレベルにも異常はなかった。入院前の診断で患者は「自分のマスクに虫がいる」と言っていた。幻覚が発現していることが疑われた。 入院後、せんに特徴的な症状が認められた。患者は静養を依頼するとし、さしなれば家に帰りたいと叫んだ。「これは病院ではない。老人ホーム(と)言った。主治医は、患者をここに何度も連れて行って、数日間(17-23日)入院させるべきと判断した。 2001/02/19 SPECT検査を受けるため、同様に連れてられて病院に戻った。しかし患者は検査に入るのを嫌がった。結果、検査を受けることはなかったが、患者が興奮したため全ての検査を終了することはできなかった。 2001/02/20 患者は2つめの病院を紹介されることになった。自分の夢までじつとしていことができず、病院の外で車に跳かれそうになりながら走り回った。 2001/02/22 特に大きな問題もなかったため、同様に連れてられて療養を勧めた。 2001/02/23 退院 2001/02/28 28日(月)、27日(火)は発熱した。患者の異常行動は、携帯電話で友人からのメッセージを誤って打ち発射することが分かった。このことを患者自身とても恥ずかしく思っているが、自分が何をしたか思い出さずにはなかった。異常行動後、患者は全くの正常状態に戻った。本剤75mgは、本剤初回内服から14日間継続した。最初の発熱から正常体温に戻るまでは18日間かかった。また痙攣状態の発現からは14日間、異常行動の発現からは13日間を、回復までに要した。	220
279	B05021030	18	年	男性	痙攣	2005/12/27 2005/12/28	22:00 朝	2005/12/28	14:30	X	No	-	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	-	-	-	-	-	-	(4:30頃)鼻と口痛。興奮状態となり、赤い「自分」などの発音もあり、歩道が危ういなど全てを踏んだ。その後本人は自宅を飛び出した。その後しばらくして自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えている)その後解熱し、精神興奮、異常行動は見られていない。	220
280	B06025041	18	年	男性	①痙攣 ②異常行動 ③失食自傷	2007/2/2~	不明	2007/2/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①痙攣、目つきがかなり狂い、動作やや遅慢、ボーッとしている。 ②いきなり立ち上がり、ボーッとしており、母親が声をかけると「わからへん」と返事。2階で休んでいきなり起き上がり、階段の電気をつけたが下に降りずにまた消して寝てしまう。事故から食事はそれぞれのおかずをまんべんなく食べるのに、一皿ずつ片付けていくような食生活は違った食べ方をした。 ③学校で自分の高につくらうと、早速を告げずに帰宅。どうやって帰ったのか覚えてない。学校への連絡がわからない。	221	
281	B08025191	18	年	男性	痙攣	2007/2/16	昼、不明	2007/2/18	21:45	○	Yes	-	15~20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	-	-	-	-	-	2007/2/14 当院にて結核インフルエンザBと診断され、タミフル処方。同居人が発熱を呈した場合、成人であれば本剤を1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 本人がインフルエンザBと診断されたため、発熱時に処方された本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。病歴検査でBと診断。本剤処方。(21:45)痙攣(全身せん妄状態)非発熱(発熱約30分間持続)。(22:00)発熱は徐々に低下したが自宅に入った。せん妄状態にも対応できなかった。(後日不明)原因不明の発熱から発熱。外傷などはなかったが、中2から転落した様子で本人は記憶なし。まだ熱が出ているので本剤75mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が就寝。ロキソニン等を処方。(熱38.9℃)	222	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 性別	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時		試薬中か否か (試薬中○ 試薬中じゃない×)	発熱 発熱の有無	試薬中の場合 発熱時刻から発熱 までの時間	試薬までの 時間	二回以上 完全回復	発熱 経過	意識 障害の有無	痙攣 発作の有無	痙攣 発作の有無	痙攣 発作の有無	痙攣 発作の有無	痙攣 発作の有無	異常な行動 発作の有無	異常な行動 発作の有無	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的にどう感じたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見たように言っているのか？)	旧資料No
						発熱時刻	発熱の有無																
282	B08025425	16	年	男性	意識レベルの低下	2001/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	223	
283	B07000740	16	年	男性	異常行動	2001/3/5 2001/3/5 2001/3/6 2001/3/6 2001/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	-	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	224	
284	B07003812	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2001/2/24 2001/2/25 2001/2/25 2001/2/26 2001/2/26 2001/2/27 2001/2/27 2001/2/28	夕	2007/2/24	21:00	-	No	-	Yes	Yes	-	-	-	-	No	No	No	225	
285	B07005448	16	年	男性	異常行動	2008/12/22 2008/12/23 2008/12/23 2008/12/24 2008/12/24 2008/12/25 2008/12/25 2008/12/26 2008/12/26 2008/12/27		2008/12/23	4:00	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	-	-	226	
286	B08028874	16	年	男性	異常行動	2009/1/28 2009/1/28	午後 午前	2009/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
287	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	-	-	-	Yes	-	No	No	No	-	-	No	No	227	
288	B04008399	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	-	-	1時間45分	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	
289	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	-	-	不明	
290	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③首の痺痛	2007/3/20	13:50	2007/3/20	16:00	×	Yes	-	約3.5時間	Yes	-	No	No	No	-	No	No	230	

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	異常な行動 の発現 状況	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	発現した 部位	発熱 の有無	異常な行動 の発現	意識喪失 の有無	けいれん の有無	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動の具体的な詳細 (例：知覚については具体的に何が見えたか？本人が知覚を見たのか、 誰が知覚を見ていたと知っているのか？)		旧資料No
						発熱の有無	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	異常な行動 の発現																											異常な行動 の発現	異常な行動 の発現	
291	E07004079	17	年	男性	異常行動	2005/11/28 18:00	2005/11/28 21:30	○	Yes	—	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。～05/11/29(夜)突然起 息を繰り返す。ドアやベランダから外に出ようとする。本人にどうしたのかと尋ねると「大 丈夫」としかりした口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出よう とする。マンションのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止 めためた事で事なきを得たが、その時口では「大丈夫」と言っていた。 2005/11/29 異常行動回復。	291
292	B05025437	18	年	男性	異常行動	2006/1/11 10:00, 18:30	2006/1/11 21:00	○	Yes	—	—	—	—	—	No	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/1/10 (夜より)発熱。 2006/1/11 (0:00)学校早退し初診。39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。帰宅後 タミフル75mg内服。 (18:30)タミフル75mg内服。(21:00)突然寝て居たが起きだし、外に飛び出し15分後に戻 る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2006/1/12 (10:00)38.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外には処方)。異常行動回 復。 2006/1/14 インフルエンザ軽快・回復。	292
293	B06026646	16	年	女性	①延期 ②自傷行動	2007/3/23 朝	2007/3/25 朝	×	—	—	—	—	—	解熱過程	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/10 (夕)インフルエンザ(体温39.2℃)に罹患して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 来から飛び出していた。本人は同僚から出たかの記憶がない。走って飛 び出たのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの事。本剤の投与を 中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。	293
294	B07013137	18	年	男性	異常行動	2007/3/13 夕	2007/3/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明 本剤投与後、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)インフルエンザ(体温39.2℃)に罹患して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 来から飛び出していた。本人は同僚から出たかの記憶がない。走って飛 び出たのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの事。本剤の投与を 中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。	294	
295	B07013376	18	年	男性	異常行動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明 (夕)インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初投与後2時間後、異常 行動発現(非重篤)。連れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 投与2日目 (夕)本剤75mg内服。本剤2回目投与後も腫れがあるが、父親が確保。 投与3日目 (朝)本剤75mg内服。本剤3回目投与時には症状は顕現しなかった。(夕)本 剤75mg内服。本剤5回目投与時、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動につ いて本人の記憶はなかった。	295	
296	B05022154	19	年	男性	①発ち遅きのなま ②凍結	2006/1/11 12:30	2006/1/11 16:00	—	Yes	—	3~4分	Yes	—	—	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	突然発症し、大声を出し、不穏。両肩状態をドアをこじって叩き壊し、廊下などを走り、テ レビを割る程度であった。この間3~4分間の出来事であったと振り返り、家人が出血した 両手平部の処置を行い、落ち着いた状況となった。	296		
297	B06005344	19	年	女性	①既往 ②自傷行動	2006/2/1 ~ 2/5	朝・夕	2006/2/5	0:00	×	No	—	5時間以内	Yes	—	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	インフルエンザ発症前に認められた自他覚所見：発熱(37℃)、頭痛、嘔吐、鼻汁(鼻水、 鼻づまり、くしゃみ)、倦怠感。 2006/2/1 A型インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2日目の投与開始(確定診断 未実施)。(午後)受診後、発熱。 2006/2/5 (0:00)友人と1時間間接電話で話しましたが、電話したことも内容も覚えてい ない。自傷行為(リストカット)を自覚。記憶消失(非重篤)が出現。(午前)0:00頃、眠床。 (午前)5:00頃自覚めると左手首の切り傷に気付いたが、切ったことも覚えていない。自 傷行為(リストカット)、記憶消失は回復。その後発熱なし。 2006/2/6 インフルエンザの軽快・回復	297	
298	B07007086	19	年	男性	異常行動	2007/5/17 20:30	2007/5/17 21:30	○	Yes	—	—	—	—	No	発熱持続	No	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/5/16 (夜)発熱、嘔吐、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (日)19時当院外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型)と診 断。発症時に認められた自他覚所見：発熱37.8℃、嘔吐、鼻汁(鼻水、鼻づまり、くしゃ み)。(0:30頃)当院で本剤75mg×1日、カロナール200mg×1日(発熱時頓用)服用し 帰宅した。(21:30頃)夕食となったが、その時すでに食事をこぼしたり、うつろ状態で おかしかったと時の弁、異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)就寝していたが突然起き上がり、大声で叫んだり、おめを揺らした ような状態で、洗面の排水溝から洗面器を出ようとするような異常行動あり。 (1:3)母親の連呼で消防に緊急で搬送された。経過観察が必要と判断し入院と なった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない)入院後は経過観察のみ。 (18:00)発熱なし、退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.8℃。短期発熱はあるが、症状は軽快しその後の異 常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。	298	
299	B08028880	18	年	女性	異常行動	2009/1/14 午後 午前	2009/1/14 2009/1/19	○	—	—	—	—	—	No	解熱過程	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	2009/01/14 インフルエンザ治療のため本剤75mg投与開始(～2009/01/15)。 症状(統合失調症様症状等)発現。気分重篤を自覚。 2009/01/18 「私は死にたい」とベランダから飛び降りようとする行為(母が制止)や「大学 は私が創った」といった誇大妄想や人物誤認などがあった。 2009/01/20 当院入院中で、薬物療法を継続中。 不明 症状(統合失調症様症状等)の軽快・不明	299	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 年齢 数値	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻		服薬中か否か (服薬中○、 服薬中止×)	意識 障害に 発現し た	服薬中の 場合、 服薬時 間から 発現ま での時 間	回復ま での 時間	一服以 上完 全回復 した	発熱	発汗	赤痢	嘔吐	痙攣	他 の特 徴的 な症 候	異常な 行動の 内容	異常な 行動の 概要	注	
						発現時刻	持続時刻															
300	B05023210	20	年 男性	障傷	2008/01/21 1/22~25 1/26	夕 期・夕 朝	2008/01/22 2008/01/23 2008/01/24 2008/01/25 2008/01/26	— — — — —	No	—	No	No	解熱過程	Yes	No	No	—	No	解熱過程 1/22, 23: 痰、全く咳が収まらず、ゲームが楽しめて仕方なかった。痰よとしてモノクソして痰が吐けなかった。 1/24: 夜間になり、家人に悪夢を見た。 1/25: 悪い夢で涙の中に吐けたり、歩き回ったりした。色々な考えが頭の中をぐるぐる回っている感じがあった。覚醒の内容が不安定であった。 1/26: 痰を拭くと息が立ち、嘔吐に行ったら嘔吐が止まらなかった。	239		
301	B05022861	20	年 男性	①異常行動 ②過換気	2007/2/4	—	2007/2/5	1:52	x	No	—	5時間	Yes	解熱過程	No	—	—	No	不明	2007/2/4 (1) 2:35 発熱外来受診、昨日より鼻汁が出た。本日追加処方あり。肺炎、咽頭炎が出現、BT: 38.9℃、奥付いた、喉痛、腹痛、頸部リンパ腫腫脹。インフルエンザが原因と思われる。タミフル75mg x 1日投与開始 2007/2/5 (1) 5:31 異常行動、過換気症状出現(汗臭、震え)とすると不安になって、叫びだしたりしたため救急外来受診、意識清明、産れなく立っている状態、右手のしびれがある他は神経学的所見(-)、BP: 168/88、BT: 39.5℃、paper bagにて加温。(7:00) 約5時間経過後、症状落ち着いた。異常行動持続、過換気症状回復。安定剤希望、カームダン錠0.4mg IT 1回分。(8:58) 症状落ち着いた。喉痛、咽頭炎 (-)、心音、呼吸音正常。 CPB値: 6.8、HbC: 8.1 x 10 ² /μL。本剤は中止。カロナール錠200mg 2T x 1日 x 4回処方。	240	
302	B07013249	20	年 女性	異常行動	2007/4/2	16:43	2007/4/2	服用後、数 時間	—	—	—	—	発熱持続	—	—	—	—	無	2007/4/2 16:30頃 発熱が再発。患者は高熱(38.5℃)のため軍の中においた。A型インフルエンザに罹患して、本剤の投与を開始。発熱後すでに夕方時点で本剤とカロナールの服用を開始。16:43頃には服用したと考えられる。服用後、数時間でわくこと、フラフラと嘔吐開始。この段階では高熱は持続した。 2007/4/3 発熱、異常の判断により、本剤の投与を中止。熱がほぼ平熱に低下。本剤、カロナール以外の薬を服用継続。午前中に、如方受診。昨夜の症状・行動について連絡。セゾンカプセル100mg op、3 x n 4回 4T追加となる。異常行動は回復。 2007/4/8 インフルエンザ発症を確認。	241		
303	B07003477	23	年 男性	異常行動	2007/1/24	—	2007/1/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	統合失調症 (疑い)	他前にて処方(クレチン(25)、リシア(200)、アキネット(1)、ベクタミン、ベンザリン(10)、チグレート、ロヒプノール(2)) 2004/07/24 (発症前) 高熱(39.4℃)にて当院受診。インフルエンザ検査にて、A型インフルエンザと診断。シムリンR1 2T x 3T、ムコソルバン、プロモックス、ムコスタ3T、カロナール(服用) 1T/1回処方。精神薬を服用している。シムリンから本剤に変更する。(精神神経症候について十分な説明の後、本剤1回服用しように指導され処方する) 帰宅し本剤75mg x 1/1回服用後、自宅マンション階から飛び降りる。急増は一命を救った。現在身体障害者となっている。 (患者情報) もともと熱を出す傾向があり、異常行動を起こす前にもまよい等起している。	242		
304	B07013331	23	年 男性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/2/10 インフルエンザ検査に罹患して、本剤の投与を開始。投与開始後2-3時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりしている所を被が発見した。その後家裏は回復した。患者はその事を覚えていないとのこと。	243		
305	B07002186	24	年 女性	①異常行動 ②感情不安定	2007/4/17 2007/4/18	朝 夕	2007/4/18	23:00	—	No	—	2-3時間くら い	Yes	解熱過程	Yes	No	—	No	不明	4月18日(2007) 異常行動、感情不安定発現。 起床後、気分が悪く、走り出した。気分となり、何をしても収まらないうつ状態となった。自暴自棄とする意識もあるが、走り出した自分止められず(自覚症状あり)、部屋の中で寝てしまったが、1階に下りて母親に「助けて」と訴える。4月19日(0:00) 母親に連れられて来院。その後、大声で叫びがとまらない。そのうち笑いが止まらなくなると同時に立ちあがり(4:30まで)。見当識障害多少あり(治療薬)にきたりかわらぬ。入院。入院後も症状が続いていた。 (0:30) 朝は元気通りの人物に変わった。	244	
306	B06028316	26	年 男性	自殺企図	2006/1/20	—	2006/1/20 2006/1/21	23:30~ 24:30 夜中	O	Yes	約2時間後	10分 約2時間後 に再び異常 行動。程度 は一。持続 時間は10分 程度	No	発熱持続	Yes	No	No	—	No	無	2006/1/20 インフルエンザ治療のため、タミフル75mg x 2日処方。(0:00) 時点でカロナール服用(本剤処方ではない)もあつた。タミフル75mg服用後(1回目)、異常行動(自殺企図)発現。翌朝に起床し玄関前で、マンションの廊下(廊下から3階)に落ちた。患者の奥様が止めたところ、向かいに落ちた様子でお前に申し訳ない、死んでから謝るといったことを発言。異常行動は10分程度回復、落ちてから行動を正すと、自分がおいた行動の記憶があると事。当時不安になるような当りは全く無し。(9:00) 38.8℃ 2006/1/21 約2時間後に再び異常行動。程度は不明。持続時間は10分程度	245
307	B03001069	28	年 男性	気分変動	2003/1/3	20:00	2003/1/3	20:10	x	No	—	2-3時間	Yes	—	Yes	—	—	無	2003/1/03 体温: 38.5℃、寒、頭痛、下痢症状あり、精神状態は特に異常なし。インフルエンザと診断。(20時間後) 発熱(75mg) 1回。タミフル75mg 9ヶ-10mg IT ab。タマゴE (Kas) がわくわくと2ab服用。(20時10分頃) 気分変動あり。頭の血管が切れそうな感じ、何をしても分かんない(例えば髪を振り回すかも起れない)感じがして、妻子に遠くに離れているように思った。玄関の辺りで、7abを行ったりしていたが、その後倒れた状態に陥った。妻が行った時、顔は開いており涙もした。この頃、痛んでいた救急車が来て他院へ搬送。到着時はかなり寒く感じた。病室にどうして、1時間後に他院へ。他院における治療調査不可能。以上は翌4日に電話連絡時の話その後、症状回復。以後の本剤投与を中止	246		
308	B07001660	30	年 男性	異常行動	2007/3/28 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/31 2007/4/1	—	2007/3/31	午後	O	Yes	—	No	—	No	No	No	—	No	無	3月28日本剤投与開始。 3月31日午後投与していないときより起き上がり、但手を持つ。 4月1日(午後)寝ていていきなり飛び起きて、外に出て玄関に飛び出した。以後もぼーとした感じが続き、夕食後のタミフルから内服中止した。インフルエンザ発熱。 4月2日以後徐々に意識清明となって来た。 4月3日異常行動回復。	247	